

第18期同友会幹部大学のご案内

(社)北海道中小企業家同友会釧路支部 共育求人委員会



17年の実績
200名の修了生が
各分野で活躍しています

1月14日(金)開講

会場：まなぼっと(釧路市幣舞町4-28) / 受講料：30,000円(全8講座)

時間：18:00～20:15

激変する情勢と多様化する課題を正確に認識し、素早く対応する力が幹部に求められています。受講生自身の生き方を科学的に問いながら自己変革を迫る幹部大学。幹部の成長が企業の命運を分ける時代です。是非、貴社の幹部を派遣してください。

- ◆ 日時 : 2011年1月14日(金)～3月4日(金)までの全8講座
- ◆ 会場 : 第1講(釧路シーサイドホテル) 第2～8講(まなぼっと)
- ◆ 対象 : 会員企業の幹部社員もしくは後継者、及び経営者。
- ◆ 修了式 : 3月11日(金) 18時00分～19時30分(釧路全日空ホテル)
- ◆ 目的 : ①広い知識と文化・科学の基礎を学ぶ
②科学的に物事を見て、考える方法を身につける
③幹部従業員の「共育」に対する実践力を養い、企業体質の改善、強化に役立てる。
- ◆ 運営 : ①各講義後にレポートを作成、提出していただきます。
②計6講座以上に出席し、レポート提出に漏れがなく、100点満点中40点以上を得点した方に修了証書が授与されます。
③修了者は「幹部大学同窓会」に参加して頂き、以後も研修活動を重ねることができます。

《第18期幹部大学 カリキュラム》

日時	テーマ	講師	内容
第1講 (人間関係) 1月14日(金) シーサイドホテル	「良好な人間関係の築き方」 【グループワーク・懇親会】	釧路工業高等専門学校 准教授 三島 利紀 氏	ビジネスにおいては良い人間関係を構築することが基本。グループワークを通じて良好な人間関係の構築のためのカギを探る。
第2講 (マナー) 1月21日(金) まなぼっと602	「上手く相手に 自分を伝える方法」 【グループワーク】	シーズサービス(株) 代表 迫田 栄重 氏	日常業務の中で、同僚に自らの考えをしっかりと伝えられているだろうか。「伝わる」話し方を学ぶ。
第3講 (文学) 1月28日(金) まなぼっと703	「文学から学ぶもの」 ～原田康子の『挽歌』を通して～	釧路工業高等専門学校 教授 小田島 本有 氏	「家庭崩壊」や「自分探し」といった今日的な問題を50年前に予見していた原田康子。その作品を読み解く。
第4講 (哲学) 2月4日(金) まなぼっと601	「自分を見つめる」	釧路公立大学 教授 高野 敏行 氏	日常、私たちは「自分」について深く考えることなく生活している。「自分」とはどのような存在かを探求する。
第5講 (歴史) 2月10日(木) まなぼっと705	「釧路の歴史」 ～クスリから釧路へ～	釧路公立大学 教授 高嶋 弘志 氏	釧路に住んでいながら、私たちはこの街のことをどれだけ知っているのだろうか。故郷の歴史の変遷を学ぶ。
第6講 (実践報告) 2月18日(金) まなぼっと602	「中小企業の生き残り戦略」 【グループ討論】	《報告》 タカオ工業(株) 常務 岩口 潔 氏 (株)美警 社長 三上 葉月 氏	企業が生き残るために、我々は何を考え企業経営をしなければならないのか。会員企業の実践報告から学ぶ。
第7講 (地域経済学) 2月25日(金) まなぼっと602	「金融機関から見る 釧路の現状と課題」 【グループ討論】	釧路信用金庫 経営企画部 部長 森村 好幸 氏	企業経営を存続させるためには金融機関の存在が欠かせない。地域に根ざす、釧路信金の森村氏の問題提起。
第8講 (総括) 3月4日(金) まなぼっと602	「同友会運動が地域に果たす 役割と幹部社員に期待すること」 【グループ討論】	同友会釧路支部役員	幹部大学で私たちは何を学んだのか。どのような変化を遂げなければならないのか。受講生の意見発表と支部役員からの助言。

出欠回答は同友会事務局まで FAX: 0154-31-0944

《第18期同友会幹部大学 受講申込書》

会社名		会社電話	
受講者氏名		会社FAX	
ふりがな		Eメール	
役職		生年月日	19 年 月 日

※切り取らないでこのままお送りください。2名以上でお申込みされる時はコピーしてお使い下さい。